

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和2年6月1日

事業所名 放課後等デイサービスくりーむうさぎ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			児童人数、年齢、体格など当日の様子を見ながら1階、2階のスペース確保を都度行う。
	2	職員の配置数は適切である	○		郊外活動等、基準以上配置、実施	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			利用状況により必要性に応じて取り組み対応
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		簡易MT実施	周知徹底のための、時間確保、その都度対応
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			実施できるタイミング、必要性含めての協議、優先度合より改善策検討
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			府庁提出後、HP公開
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	相談支援・児童発達支援者との連携	連携機関からの情報確認、評価表の配布結果、ヒアリングをもとより改善策へ
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			月単位での利用状況、時間調整含め実施
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			定期的な開催、時間確保などニーズや課題の引き出しを増やすための保護者との関係性を更に確立を目指す
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			個別、集団の時間枠設定、計画立案
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っている	○			

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている		○		現時点での情報共有より更に連絡調整ができる時間の確保、互いの関係性の構築と積極的な情報提供、共有
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			現時点、該当児利用なし。今後利用によって情報提供予定とする
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		状況判断しながら今後、検討
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		状況判断しながら今後、検討
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			定期的な懇談、連絡、ノート含め適宜対応。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	発表会やイベント活動の活用	参加活動の中での連携、活用での対応を検討
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情受付についての説明、設置対応
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			随時、保護者に伝達。活動内容はHP公開 定期的、また余裕をもった発信体制を心掛ける
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		

非 常 時 等 の 対 応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			マニュアル作成。職員間での情報共有、周知
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			より定期的な実施の時間確保に繋げる
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			研修参加実施。マニュアル作成
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○		該当児の受け入れをしていないため
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			指示のもと保護者からヒアリング情報確認対応
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ヒヤリハットについての事例作成。情報共有